



# 八丈島ぐらし通信 17

2023年1・2月合併号



シチトウスミレ  
イラスト：氏家美香(宮城県出身)

八丈高校家政科のおせち



新年特別企画

## 八高生と人口減少を考える

今月の島ごはん

八丈高校家政科 紅白島レモンなます



【材料(4人分)】

大根 300g、にんじん 1/2本、  
島レモン (大1個または 小2個) スライス 薄切り5枚、果汁50ml  
砂糖 大さじ1と1/2(13.5g)、塩 小さじ1/2(3g)

【作り方】

- ① 大根と人参は5cmの長さに切り皮をむいて千切りにし、塩水(目安:水1Lに塩大さじ2 ※分量外)に10分つける。10分経ったら水気を絞る。
- ② レモンは薄切りにしてスライス状にし、8等分のいちよう切りに切る。  
レモン果汁をレモン絞り器で絞る。
- ③ レモン果汁、砂糖を混ぜ、大根と人参、レモンスライスを加えて和える。  
最後に味をみながら塩を加えて和える。



### フンクサ豆まきと厄落とし

青ヶ島と八丈島では、節分の夜に「フンクサ」の儀式をします。竹の先を12に割り、ササヨカクサヤカイワシをつけて火にあぶり、「フンクサ、フンクサ、年の始めの年神様に焼きやかしをしてお願ひ申す。芋千俵万俵の息とかまって候。トビヨ千本万本の息とかまって候」と口上を述べます。かまって(かまる)は、臭うの八丈方言。「豊作・豊漁の臭いがする」という予言的な意味合いです。無病息災や金銀珊瑚など、各家でアレンジして様々な良い予言をしてから豆を撒きます。厄年の人がいる家では客人を招いてご馳走をふるまい(厄を分けて持ち帰ってもらい)厄落としをするのが慣例でした。いまでも続けている家もあります。道辻に身近な道具を落とす厄落としも昔は行われていました。

### 移住者が知らない 八丈島 !?



お話を聞いた人  
川上綾子さん(83歳)  
浅沼或さん(88歳)



新年特別企画

# 八高生と人口減少を考える

## 八丈高校島民会議「人口減少」に参加しました！

令和4年12月21日(水)八丈高校において、地域との協働による高等学校教育改革推進事業「やるこん!プロジェクト」の一環として、2年生の総合的な探究の時間(八丈学II)「島民会議」が実施されました。全体テーマは『八丈島の解決策の提案』です。人口減少の他に、海・医療・公園開発・食・動物保護の分科会に分かれて協議が行われました。今回は高校生と一緒に八丈島の人口減少を考えたく、移住協の歌川理事長と共に広報誌編集者が参加しました。

### 2年生の人口減少の解決策

### 企業誘致・複合施設

#### ■ 農業系企業を誘致したい

八丈高校には園芸科があるが卒業すると島外へ出ていく。加工品製造やお菓子作りなども学んでいるので農業系の企業があれば就職できる。農業系企業へのパイプがあれば園芸科へ入学する人も増える。

#### ■ ジム・ボルダリング・カラオケ・カフェスペース等がある複合施設を誘致したい

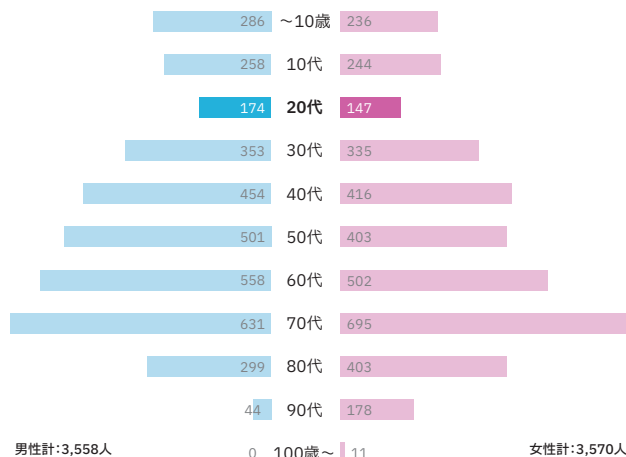
八丈高校は生徒数が少ないので(1学年40名程度)面白くない。部活はほとんど10人以下。企業があれば卒業生が残り島が活気づく。遊ぶ施設があれば高校生～20代30代家族連れも楽しめる。カラオケ館等の安い施設を誘致したい。

なぜか？

### 八丈島の人口ピラミッド(グラフ)は若年層(20代)が少ない

※2022年12月1日時点で八丈島の人口は7053人

八丈町の2022年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース、総人口)



2年生は「NPO法人八丈島移住定住促進協議会」(2020年開設)で話を聞きました。

- 移住の相談は500件以上起っている。  
(住居の相談が多い)
- 約320件の空き家を調査中。  
(調査してない物件を含めると500以上の空き家)
- 2021年は家族連れや年配の方が多かったが、  
2022年は20代・30代の相談が増えている。
- 島外企業からの相談も受けている。



## 協議

2年生からの提案の後に、これに参加した地域の大人達が意見を述べました。参加者は、町役場・町議会・移住定住促進協議会・学校関係者と個人参加の方々です。2年生の企業誘致の発想に対して、島内での起業を提案する意見が多くありました。

## 参加者の意見



八丈島は切り葉の生産量が全国で一位。稼げることをアピールすれば支える人が増える。

フルーツレモンは生産量が少ない。実際に数値を調べて検討するべき。

いまあるものをICT化して売るマーケティングを大学で学び、戻ってきてそれをやれば20代が増える。

酪農や食品で会社を起業するのはあり。八丈富士には牧野が400ヘクタールほどあるので、有効活用して八丈牛を育成すれば大きな産業になる。

企業を誘致するには理由が必要。明日葉は八丈島原産なので本場の明日葉の加工場は売りになる。

大手の加工会社は採算が合わなければ来ない。採算を常に考えてみてほしい。

## 3年生から補足



2年生は人口を増やし、若い人達を増やしたいので、働くための施設が島にほしい。起業を考えるのは高校生にはハードルが高く、島外で就職するのを選んでしまう。若い人達を島に留めるためにどうしたら働き口を増やせるかを考えてほしい。酪農や切り葉などをどうやって高校生の思いと繋げるのかを考えてほしい。

ジム・ボウリング・カラオケなどの複合施設ができることは、移住をする人を後押しするので、働く人を増やすことになる。移住したいポイントを増やすことが人口増に繋がると思う。

## 参加者の回答

東京都が進めている農業DXを上手く使い、温度管理を含めてすべて機械でやるようになれば、若い人達も働きやすく企業誘致もしやすくなる。DXを使って八丈島の新しい産物を作ることも考えられる。

野菜工場が世界的なトレンドなので、工業製品的な野菜を作るのはあり。

複合施設を作ると電気代や人件費がいくらかかるか？簡単に誘致するのは難しいが、八丈島ならではの複合施設に取り入れ、将来自分達が働きたいと思える企業誘致を考えてほしい。

経験豊富な地域コーディネーターが入り町おこしをすることがある。島外に向けた広報をしていくことも必要。

10年15年後の高校生を育てる子育て世代に来てもらえることを考えたらどうか。複合施設を作るにも人口が減少しては難しい。

高校生の視点は「作ってほしい」「企業誘致したい」という思いが強すぎて、企業側の視点が入ってない。企業が八丈島に来て何を得するのか？SDGsか？環境か？企業に八丈島は良いと思わせることが来る理由になる。

人口減は何が問題か？何人になればよいのか？目標があれば、それに沿った企業誘致が考えられる。

魅力がないと企業は来てくれない。娯楽や文化面で魅力のあるところに人は集まる。

採算が合わないと企業は来てくれない。考えられるのは、自治体が補助金を出す。町に雇用拡大補助金がある。将来的な人口増に繋がる魅力的な施設を作ることに出る補助金があれば可能性がある。

補助金は税金なので、使ってるお金は誰が払うのか？必ず両面から考えないと実現は難しい。八丈島でしかできないことを考えてほしい。

## 2年生 ▶

企業誘致という難しい提案をしたが、足りない部分があり、ご意見をいただき自分達の将来のためにも勉強になった。ありがとうございました。

分科会終了後、ホールへ移動して全体会が行われ、各分科会の報告(各班代表と町役場)と八丈町・東京都教育庁・文部科学省からの講評・所感が述べられました。人口減少に参加した町役場議会事務局からは、「大勢の前で自分達の意見をはっきり言えることが一番大切。このような経験を活かし、これから社会に出たときに、自分の主張ができる大人になってほしい」との感想が述べられました。





## 移住定住促進交流会の 定期開催を目指しています！

移住協では今年度より、八丈島内外で生活する独身者が、八丈島の魅力を活かしたアクティビティや食事会を通じた交流を図り、島民同士、島民と島外者が繋がり、来島、移住、定住、結婚への動機を生み出す事を目的とする『独身者向け交流会』・八丈島に移住してきた移住者同士が、世代を超えて交流を図り、気軽に集え、情報交換や相談ができる場を提供し、移住者コミュニティがあることで、移住後も安心して住み続けられることを目的とする『既存移住者向け交流会』・若い世代が移住を検討するうえで最も重要な「子育て」の支援を目的とした『パパさんママさん向け交流会』の定期開催を目指しています。

よりよい八丈島、住みよい八丈島を目指して今後も邁進して参ります。八丈島民のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



副代表理事 持丸 沙代子



## 2月の移住者交流会

※コロナの発生状況等により延期する場合があります。

### 千葉県人会発足会

**日時** 2月10日(金) 19:00～21:30  
**場所** イーストサイド茶屋(三根892-2)  
**会費** 5000円 飲み放題・料理8品(デザート付き)  
 お子様連れの場合、  
 別途1500円 お子様プレート1ドリンク付き  
**概要** 八丈島在住の千葉県出身者、または千葉県に縁がある方がご参加できます。**お申込みが必要**です。メールまたは、TwitterのコメントかDMでお申し込みください。

#### お申込み専用アドレス

▶ event8jo@gmail.com

#### NPO法人八丈島移住定住促進協議会Twitter

▶ @hachijoiu

### 移住者交流スペース「夜のお茶会」

**日時** 2月24日(金)18:00～22:00  
**場所** ボタニカル&カフェ DRACO(大賀郷2265-2)  
**会費** 各自ドリンクをご注文ください  
**概要** 主に移住期間の短い方を対象として、交流を目的とした空間をご提供します。相談員を置き、島暮らしに関するご相談も受け付けます。  
**お申込み不要**。時間内出入り自由です。

※アルコールはありません。  
 ※フードもありませんので、食事をしてからご来店ください。  
 ※お菓子の持ち込みは歓迎します。  
 ※お子様連れの方はお子様と一緒にいてください。  
 ※駐車場が狭いので、愛光観光前の町の駐車場をお借りしました。そちらに駐車してください。

